

実践研究会を開催!

平成30年2月24日(土)第9回目の実践研究会を行いました。今年度も、北方西小学校をお借りして無事行うことができました。

今回のテーマは「**道徳教育を充実させるために!**」です。発表者は、本巣市を代表して根尾小学校・河合延佳校長、北方町を代表して北方南小学校・大塚康正教諭です。ご多用の中、真桑小学校清水康孝校長先生はじめ多くの先生方など、21名の方々にご参加いただきました。

13時30分、**上水流弘美副会長**(本田小)の流れるような名司会で、華やかに始まりました。

まず、**森山政紀会長**の挨拶です。「今朝、長谷川昇児校長先生から電話があり、ひまわり教室が使えないことを知らされました。『それは良かった。事前に分かって。きっと天が守ってくださってるんだよ』

今学んでいるモラロジーのお蔭で、そうお答えすることが出来ました。しかし、皆様の前でこの話をしたら、当人は傷付くことにも思いたらなければなりません。道徳の心遣いや行為はやはり難しいものです。だからこそ、子どもたちと進める道徳教育は大切であり、やりがいがあることではないでしょうか。真摯な実践をされておられる先生方をお迎えして、今回もお互いに学ぶ機会を得ました。参会者の皆様には、真の道徳を先生や子どもたちに広める役割をお願いしたいと思います」

次は、参加者全員のご挨拶で、自己紹介の形で進められました。



平成29年度 実践研究会

つながりを深め かかわりあって たくましく生きる

発表者: 本巣市立根尾小学校 河合 延佳 校長

まず、根尾小学校が本巣市道徳教育3年計画の1年次を担い、研究を進められたことが紹介されました。そして本田小学校堀幸子校長先生のご指導を受けて道徳授業の研鑽に励まれた成果を曾我部領史先生の授業実践にて紹介されました。複式5/6年の子どもたちが教材『手品師』に取り組みました。



売れない手品師が、明日手品を見せると男の子に約束をします。その日「大劇場の出番がある」との話が来ました。考えた手品師はその話をことわって、たった一人の男の子の前で演じるのでした。「誠実」に生きることを考えるための良い読み物教材です。

話し合い活動は、まず「素敵だと思ったこと」を全員出し合います。そして「自分の夢よりも男の子との約束を選んだ手品師の気持ち」を考えます。「モヤモヤ」ではなく「スッキリ」した手品師の心を「誠実」と捉え、手品師の未来を予想しました。最後、自分の生活で振り返り、「異年齢集団掃除」や友達への心遣いを発表しました。意図的指名の子も的確な反応で、話し合いに貢献することが出来ました。

河合校長先生は子どもたち一人ひとりを大切にしています。全校31名淡墨公園で遊んだお話を愛おしそうに話されました。先生方への心配りにも、温かさや強い指導力を感じさせていただきました。

児童の実践力を培い 自己有用感を高める指導

発表者：北方町立北方南小学校 大塚 康正 教諭

人権教育の視点を大切に、学校全体で取り組む活動の意義を共有し、道徳教育を充実させようとする発表でした。

キーワードは「自己有用感」です。

「学校・学級きずな宣言」は、ひびきあいの日の基本です。5月は確かめ、12月は振り返りを学級・学校でします。

「うれしい言葉50音」を全校で広め、使いこなすことに挑戦します。校内放送のクイズや「よいこと見つけ」「ほめほめシャワー」の掲示を通して、子どもたちの達成感や成就感を満たします。

太陽学級の異年齢交流によって、励まし合い、認め合う体験を豊かにします。「ペア掃除」「幼保小交流」「1・2年合同生活科体験」も自己有用感につながる成果を上げています。

家庭・地域との連携は究極の姿です。北方町で行っている「子どもサミット」は、あいさつ運動やゴミ0(ゼロ)運動で、大人と一緒に頑張ります。PTA活動では「あったか〜いことば」の日めくりカレンダーをまとめ、各家庭で活用されております。読み聞かせボランティアの交流を学級通信で価値付けているのも有効な方法でした。

大塚先生は、「どこの学校でもやっていることで、目新しいことはないのですが…」と謙遜気味でしたが、教師集団がやるべきことを納得した上で共通実践させることこそ、推進役の力量だと思いました。先生方が謙虚に学び続ける学校態勢であれば、道徳教育としての今後の成果も更に期待できると思わせていただきました。

発表の後には質疑応答。すぐには出ないと見立てた司会が、近くの人との意見交流を促しました。ひとしきり小集団の話合いがもたれてから、全体交流となりました。司会**上水流**先生の好判断に感謝です。



(会場風景) 質の高い実践発表を聴き、意欲を語る参加者の皆さん

「とても良い実践を聴かせてもらいました。教師集団が高まろうという力を感じます。子どもたちの育ちを点から線につなぐ努力が伝わりました」(真桑小・

清水康孝校長先生)「子どもの実態に合わせて、きめ細かく継続的に進めることの大切さを学びました。嬉しい言葉などの書く時間はどのようにしていますか」(北方小・渡部純一先生) 質問には、「活動後には、気持ちまで書くよう助言をしながら時間を取っています」

林 明夫顧問から指導助言をいただきました。

「お二人の先生方、また学校全体で、道徳教育が良くなされているなど、感心させられる発表でした。北方南小・大塚先生の発表では、子どもたちの温かい言葉をカレンダーにまとめたPTA活動の取組が光ります。教師集団のまとまりも素晴らしいです。

根尾小・河合校長先生の発表では、道徳の授業に真剣に取り組んでいる子どもたちの反応が、詳しい授業記録によって良くわかります。先生のゆさぶりに全員でNOの反応をしました。ところで『誠実』と『正直』の違いはわかりますか…。例えばガラスを割った場面を考えます。『僕がやりました』と嘘を言わないのが『正直』。その上で、自分の出来る精一杯のこと、怪我をしないように掃除するとかお小遣いで弁償するとか、良心に従って行動するのが『誠実』です」

結びの挨拶が、**神谷 肇**副会長よりありました。発表・参加者へのお礼と第55回教育者研究会瑞穂会場への呼びかけ及び3つの心「感謝、思いやり、自立」を生活信条として大切にしていることを述べられました。

これにて平成29年度の行事も無事終了しました。関係各位のご尽力に対し深く感謝申し上げます。

